

封戸保育園 だより

2021 **1** 月
(令和3年)

No. 597

【編集・発行】
封戸保育園
0978 - 22 - 3677



- ◆明けましておめでとうございます。昨年(2020年)は試行錯誤の一年でした。
- ◆『三密』の言葉も聞きなれたものとなってきました。子どもたちも「テイクアウト」「電話してから取りに行こう」など、今の状況がそのままあそびにつながっています。
- ◆このように子どもたちは大人の言葉や行動に敏感です。それは無意識に大好きなお父さん、お母さんを真似て(お手本として)成長していきます。
- ◆他者との交流も言葉を通して始まり、考える力も言葉が培われます。
- ◆一方では、言葉は容易に暴力

- へと転化します。お釈迦さまは言われました。「人間の口の中に斧をもっている」と。
 - ◆しつけに熱心なあまり、子どもに不用意な言葉を発していないでしょうか。言葉を用いて子どもを支配しようとしていないでしょうか。子どもの心はデリケートです。
 - ◆何気ない言葉ですぐに傷つけてしまいます。言葉は人を傷つけるためにあるわけではありません。生きる力を養うためにあるのです。
- ～ないおんより「龍谷ミュージアム元館長 入澤崇～
- ◆新しい1年の始まりです。気持ちも新たに子どもたちとワクワク・ドキドキと一緒に感じながら過ごしていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します

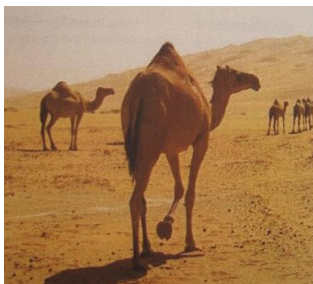
世界の小4と中2に当たる学年を対象に、算数と数学と理科の力を測る調査「TIMSS」。日本の小4の正答率が国際平均を大幅に下回った問題があります。

<ラクダやサボテンなどが描かれた「さばくの絵」絵の中から「生き物」「生き物でないもの」を2つずつ答えてください。>

という問題でした。要因分析はこれからですが、さばくという身近でない環境設定に想像力が働かせられなかったのかという見方もあります。けれども、植物や昆虫も「生き物」と理解していないのではという指摘も・・・

「生き物」や「命」については教科書や本だけで学ぶには難しいものがありますね。“見て！触れて！聞いて！匂って！”五感を使って体験していくことが大きくなってからの知識へとつながっていきます。

園での小さな生き物への興味や体験、畑の野菜での体験、園外散歩での体験などが子どもたちの生きていく上での糧となりますように・・・



おたんじょうび おめでとう!

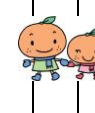
3名のお友だちが

お誕生日を迎えます

「コロナ禍」の中、帰省を控える方も多く、今年(2021年)はあまり賑やかではないお正月を過ごされた方も多いのではないかと思います。外食や宿泊も控える中で「おせち料理」がとても売れたということを耳にしました。「おせち料理」は、一つひとつの食材に深い意味づけがありますが「おせち料理」って一体なんなのでしょう。「おせち料理」は、季節の節目を祝う日、(節句を指します。)に食べる料理だそうです。節句は1年に何度もありますが、その中でも特に大きなお正月という節句を祝う料理として現在ではお正月に食べるイコール「おせち料理」と呼ばれているそうです。



31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	1月行事予定	
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金		



誕去会・避難訓練
カルタ大会



元直